



実践教材・教具紹介一覧表

愛媛県立新居浜特別支援学校






番号	教材・教具名	紹介メモ
①	<p>色のマッキング</p> 	<p>【小学部】（2年生） 個別課題の時間に使用した。具体物を使った課題が得意な児童が使用するため、クリアカップに色を付けて作成した。色のマッキング課題は、シール貼りでは難しかったが、カップを用いると、カップの色を見て正しくマッキングした。</p>
②	<p>秋の虫クイズ スライド</p> 	<p>【小学部】（3年生） 生活単元学習「秋の虫を作ろう」で季節の虫を知る学習で使用した。それぞれの虫を押すと○や×とともに効果音が出るようにした。自分が触ることで○や×の反応が返ってくるのが分かり、よく考えて押していた。クイズが全て終わった後、どの季節の虫かを確認した。授業後にも「テントウムシはいつ？」と教師にクイズを出す姿が見られた。</p>
③	<p>三匹のこぶた</p> 	<p>【小学部】（3年生） 生活単元学習「お話遊び：三匹のこぶた」で使用した。こぶた役がパズルのように家を組み立てたり、おおかみ役が家を壊したりできるように、6個の箱で家が完成するようにした。また、発語がない児童もせりふを言えるように、アプリ「DropTap」を使って作成した。音楽係も作り、アプリ「DropTap」で各場面の音楽を録音した。どの係の児童も積極的に活動していたが、特に、家を壊すおおかみ役と音楽係が人気だった。</p>
④	<p>形の弁別クイズ</p> 	<p>【小学部】（4年生） 算数の「いろいろな形」の学習で使用した。クイズは、アプリ「しゃべるんです。」を使って作成した。例えば「△を探そう」の場合、△をタップすると正解音が鳴るようにした。タブレット端末で遊ぶのが好きな児童が、意欲的に学習に取り組んだ（アクセスガイドを設定した）。</p>
⑤	<p>心臓の模型</p> 	<p>【小学部】（5年生） 生活単元学習「たいせつなからだ」で、心臓の働きについて説明する際に使用した。実際に見たり、触って操作したりすることで、心臓がポンプの機能を果たし血液が全身に送り出されたり、全身から心臓に戻ったりする様子を、イメージしやすかった。</p>

<p>⑥</p>	<p>サラサラ血液、ドロドロ血液</p>  <p>左：ドロドロ血液 右：サラサラ血液</p>	<p>【小学部】（5年生）</p> <p>⑤（心臓の模型）とともに、血液の流れを提示するために使用した。食紅で色を付けた水を入れ、ドロドロ血液はゼラチンでとろみを付けた。ドロドロ血液が血管の中を通りにくかったり、詰まったりする様子が分かり、体にとってどちらの血液が良いかを感じ取れたようだった。</p>
<p>⑦</p>	<p>動画付きの手順書</p> 	<p>【小学部】（6年生）</p> <p>生活単元学習「秋の飾りを作ろう」で、手順ごとに動画を見ながら折り紙を折るために使用した。動画には、折る場所や注目する場所が分かりやすいように印を付けた。操作方法を理解すると、自分でページをめくって作業を進めた。</p>
<p>⑧</p>	<p>平仮名マッチング</p> 	<p>【中学部】（1年生）</p> <p>個別課題の際に使用した。ペットボトルキャップに平仮名シールを貼り、仕切られた枠を使ってマッチングをする課題に取り組んだ。平仮名だけではなく、片仮名や形、色にも応用できる。キャップを枠の中に入れる際、指先を使うので手先を使った自立活動にもつながった。</p>
<p>⑨</p>	<p>振り返りシート</p> 	<p>【中学部】（2年生）</p> <p>日常生活の指導の一日の振り返りの場面で使用した。左側の選択肢の中から、一日の授業の中で印象に残ったことを選び、右側の台本に当てはめて振り返りを行う。一日の振り返りに時間が掛かっていた生徒が、スムーズに行うようになった。</p>
<p>⑩</p>	<p>拗音習得課題</p> 	<p>【中学部】（3年生）</p> <p>国語で拗音を学習する際に使用した。拗音を含む単語のイラストを提示し、名称を一音節ずつ区切って発音しながら、台紙のマス目に文字カードを一枚ずつ置く課題を行った。拗音を文字カード1枚に2文字表記としたことで、音の混成の理解につながった。</p>
<p>⑪</p>	<p>朝、終わりの会スライド</p> 	<p>【中学部】（3年生）</p> <p>朝の会や終わりの会で、生徒が進行を担当する際に使用した。会の進行表を電子黒板に映し、生徒がホワイトボードをタッチすると項目が順番に消えるようにしたり、出番があるときに顔写真を表示したりすることで、見通しを持って参加できるようにした。</p>

<p>⑫</p>	<p>服の畳み方練習ボード</p> 	<p>【高等部】（2年生）</p> <p>帰りの支度で体操服を畳む際に使用した。線の色を意識することで順番や畳み方が分かるようにした。きれいに服を畳む練習として家庭でも使用している。畳み方の順番を身に付け、一人で畳むことを目指したい。</p>
<p>⑬</p>	<p>かがり縫いチェックシート</p> 	<p>【高等部】（3年生）</p> <p>生活単元学習「小学部3年1組と交流会をしよう」のパネルシアターで使う人形作りの際に使用した。一人で活動が可能なものの、省察・自己評価が苦手な生徒が、自信を持ってかがり縫いを行えるようにチェック項目を示している。チェックマークには生徒自身が意欲的に取り組めるよう、好きなキャラクターを使用した。今後、生徒の成長とともに項目を見直し、減らしたり変更したりするなど、検討が必要である。</p>

実践教材・教具紹介一覧表

愛媛県立新居浜特別支援学校 川西分校







番号	教材・教具名	紹介メモ
①	<p>ポンポン製作器</p> 	<p>【小学部】</p> <p>単元活動の指導「運動会のポンポンを作ろう」で使用した。電動ドリルの回転を利用し、テープを巻く作業を行った。入力装置（スイッチ）と電源制御装置を合わせることで、重度の障がいのある児童も簡単に操作できた。ポンポンの製作のほか、絵筆で円の描画も可能である。</p>
②	<p>土づくり、種まき教材</p> 	<p>【小学部】</p> <p>単元活動の指導の栽培活動で使用した。スコップの柄を長い棒に交換することで、車椅子に乗ったまま、土を混ぜることができた。種まきでは、種を入れたコップが一方向のみに傾くように板に取り付けることで、狙った場所に種をまくことができた。</p>
③	<p>ユニカール</p> 	<p>【小学部】</p> <p>運動会の小学部競技で使用した。ストーンの下には、自由に動くキャスターを付けたことによって、手を動かすににくい児童も少しの力で、的に向かってストーンを転がすことができ、真ん中に入った。また、ストーン先端に児童の顔写真を付けたことで、自分のストーンに意識を向けて転がしたり、その後ものの上にある自分のストーンに注目したりした。</p>
④	<p>射的用教材三種</p> <p>(1) </p> <p>(2) </p> <p>(3) </p>	<p>【中学部】</p> <p>中学部の行事「夏祭り」の射的ゲームで使用した。</p> <p>(1)は、トリガー部分にたこ糸を引っかけてあり、スイッチを押し続けることによって、モーターの力で糸が巻かれ、弾や矢が発射される。</p> <p>(2)は、トリガー部分に糸を巻き付けてあり、後方のスポンジ部分を手押しすることによって、この原理で糸が引っ張られ、弾や矢が発射される。</p> <p>(3)は、弓の弦と矢の末端部分を洗濯ばさみで挟み、洗濯バサミに取り付けた糸（持ち手となる輪を付けている）を勢い良く引っ張ることによって、弾や矢が発射される。</p> <p>生徒の実態に合わせて、使いやすい物を選んで使用することができ、どの生徒も、自分の力で弾や矢を飛ばして的に当てることができた。</p>




<p>⑤</p>	<p>バスケットボール ゴール</p> 	<p>【中学部】          保健体育のバスケットボールの授業で使用した。様々な高さやリングの幅のゴールを作った。リングの幅は大きめにし、シュートが入る喜びや楽しさを感じられるようにした。また、ゴールネットに鈴を付けて音が鳴るようにしたり、ゴールネットの底をボールが抜けないようにしたりすることで、シュートが入ったことが分かりやすいようにした。</p>
<p>⑥</p>	<p>レインスティック補助装置</p> 	<p>【高等部】          文化祭の音楽発表で使用した。外部スイッチを接続してスイッチを入れることで、サーボモーターが動いてレインスティックが回転し(90度傾き)、音が鳴る。スイッチを押している間はレインスティックが傾くため、スイッチを押す手に力を入れ続けようとする様子が見られた。</p>
<p>⑦</p>	<p>波の音を出す装置</p> 	<p>【高等部】          文化祭の学習発表(劇)で使用した。外部スイッチを接続してスイッチを入れることで、ギアボックスに取り付けている小豆の入った容器が回転して音が鳴る。容器を、中心からずらした位置でギアボックスに取り付けることで音色が変化し、潮の満ち引きを表現できるようにした。</p>
<p>⑧</p>	<p>エコポイアシスト</p> 	<p>【高等部】          作業学習の時間に、「エコポイ(だしパックにシュレッダーダストを入れて、てんぷら油を吸う)」の製作の際に使用した。だしパックを開いた状態で固定し、スムーズにシュレッダーダストを入れられるようにした。また、紙コップの側面を切り抜くことで、教員が行っている紙コップを引き抜く工程で、中身のシュレッダーダストがこぼれることが少なくなり、生徒の達成感につながった。</p>
<p>⑨</p>	<p>ぽちっとアシスト</p> 	<p>【高等部】          作業学習の時間に、ポチ袋の型取りを行い、同型のポチ袋を量産する際に使用した。型紙の下に和紙を挟んで固定することで、一人でもずれることなく型が取れる。また、片手で行うことが可能である。使用した生徒は、自力で作業を完結できることが自信となり、積極的に取り組んだ。</p>

実践教材・教具紹介一覧表

愛媛県立新居浜特別支援学校 みしま分校

番号	教材・教具名	紹介メモ
①	プロジェクションマッピング 	【小学部】（1年生） 低学年の遊びの指導「タブレット遊び」や「秋遊び」で使用した。タブレット端末をプロジェクターに接続し、壁に投影した。複数のプロジェクターを使って四方に紅葉を映し出すことで、大量の落ち葉に触れ、疑似体験を楽しめる環境作りを行った。ほかにも海、草原、星空等を投影した。
②	体温表 	【小学部】（1年生） 登校時に使用した。体温と体調を自分で記入し、確認できるようにした。記入した内容は、朝の会の健康観察の際に発表し、みんなで確認した。また、「〇度より上は高い熱だから休む」という約束を確認する際にも活用した。
③	食べ物列車 	【小学部】（2年生） 生活単元学習「えいようのがくしゅう」で使用した。食事の際に栄養のバランスを意識し、苦手な食べ物も頑張っておくよとすることをきっかけづくりとして制作した。三色食品群それぞれの色を貨車に、食べ物を貨物に見立てた。「三色全ての貨車に貨物が乗らないと、この列車は動かない」と設定することで、食べ物列車を通じて、給食等の日頃の食事場面において、三色食品群を意識できるようにした。
④	イライラ棒 	【小学部】（4・5年生） 個別の課題学習で手先の動き、目と手の協応、道具の操作、集中力、力加減を養うことを目的として、使用した。レールと持ち手のワイヤーが接触するとブザーが鳴る仕組みである。レールや持ち手のワイヤーの形を変えることで、難易度も簡単に変えることができる。
⑤	気持ちチェックノート 	【小学部】（6年生） 児童が今の自分の気持ちを確認したり、振り返ったりするために制作した。一日に、家庭で起床時、就寝時の2回と、学校で登校時、給食前、下校時の3回の計5回使用し、教員や保護者と自分の気持ちを確認している。また、学校と家庭の情報共有としても活用している。
⑥	給食の食べ方 	【中学部】（1年生） コロナ渦で給食指導が難しい中、少しでも生徒がマナーや適切な食べ方を身に付けられるように、給食時にホワイトボードに提示している。食べ始める前に確認しておくことで、意識して食べるようになってきた。

⑦	<p>痛みのスケール表</p> 	<p>【中学部】（2年生）</p> <p>自分の体調の変化を言葉で説明することが困難な生徒が、自分の体調を伝えるために制作した。生徒から「痛みがある」と訴えがあったときに使用し、時間の経過とともに痛みの程度を確認することで、改善しているか、悪化しているかを、教師と一緒に確認した。</p>
---	---	--